

なかの 市議会だより

8月号

2023年(令和5年)
8月5日発行
No.73

発行 長野県中野市議会 編集 中野市議会だより編集委員会
●ホームページ <https://www.city.nakano.nagano.jp/> ●Eメール gikai@city.nakano.nagano.jp



元プロ野球選手による
ドリーム・ベースボール in 中野

● 市政一般質問	人事案	事件案	予算案	条例案	● 議案件数及び議決内容	会期	閉会	開会
31件	2件 2件 4件 1件	3件	3件	10件 3件	可決 承認	16日間	6月23日	6月8日

6月定例会



議長就任のあいさつ

中野市議会議長 原澤 年秋

6月市議会定例会におきまして、議長の要職に就くことになりました。原澤年秋でございます。身に余る光栄に存じますとともに、その職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。

初めに、5月、本市において凄惨な事件が発生し、4名の尊い命が奪われました。お亡くなりになられた方々の、ご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆様方に、心よりお悔やみを申し上げます。

さて、我が中野市は、「緑豊かなふるさと 文化が香る元気なまち」を目指し、地域資源の有効活用を図り、新たな情報発信の取り組みを進めるなど、積極的に施策を展開しております。

人口減少など取り巻く情勢は厳しいものがありますが、市政発展のため、また市民に開かれた市政を実現するために、誠心誠意努力していく決意でございます。

もとより浅学非才の身ではございますが、本市議会が市民の負託に応えられるよう、公正無私の立場を堅持し、民主主義のルールにのっとり、

粛々と議会運営にあたる所存でございますので、議員各位並びに湯本市長をはじめ、執行部各位におかれましては、一層のご協力、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさつといたします。

よろしくお願いいたします。



就任のあいさつをする原澤年秋議長



松野 繁男

まだらおの湯の無償譲渡について

質問 譲渡先企業の概要は。

答弁 埼玉県所沢市に本社を置き、主に人材派遣のほか、飲料水の販売も行なっている。

質問 温泉施設等の経営の経験は。また、譲渡先企業との協議内容は。

答弁 温泉経営の経験はないが、プロポーザルや事前協議の時には「温泉のコンサルタント、専門家を交えた協議を行っている。温泉運営に専門の人材を配置し、移住させたい。また、地元雇用も積極的にを行い、温泉運営の人材育成等も準備している。5年経過後も温泉経営を継続したい。」との説明を受けている。

質問 譲渡後5年間の市の監理体制は。また、それ以降の事業展開は。

答弁 譲渡条件の順守等、適時に必要な調査を実施する。新たな事業展開や開発等を行う場合は、水質汚濁等ないよう法令に従っていただくが、その点は事業者も承知している。

質問 旧豊田村時代からの観光地で、憩いの場である。無償譲渡等について、地域住民に説明する予定は。

答弁 地域住民の方々とは良好な関係が必要と考えていることから、事

業者に対し、必要に応じて説明を行うようお願いしていく。

児童数減少による教育現場の対応について

質問 教育委員会の資料では、令和6年度から令和11年度の就学予定者は6年間で119名の減少となり、日野小学校と延徳小学校では学年の児童数が一桁となる可能性がある。豊田地域、中野市北部地域の学校統合が議論された頃と共通するものがある。新たな統合協議の考えはあるか。

答弁 新たな小学校再編の議論については、「中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針」にのっとり、児童・生徒のより良い教育環境の整備と教育の質の向上を図るため、継続的に検討して行く。

質問 豊田小学校について、統合して3年目、同一敷地内に中学校が併設されている事の利を生かした小・中連携教育の進捗状況は。

答弁 小・中学校それぞれのグラウンドデザインに基づき、各種行事への相互参加や避難訓練の共同実施など掲げられている。その成果としては、小学2年生と中学2年生が合同で農業体験などの活動を行っている。

その他の質問

・冬季除雪による構造物等の損壊について

・ごみの不法投棄について



笠原 豊

带状疱疹ワクチン接種費用の助成について

質問 中野市における带状疱疹ワクチンの接種状況は。

答弁 市内医療機関の27施設のうち、15施設がワクチン接種をしており、年間で約170人が接種を受けている。

質問 接種費用を助成してはどうか。

答弁 現在、国において定期接種化に向けた議論がなされており、ワクチンの期待される効果や導入年齢に関して検討が進められている。現在、公費助成は考えていないが、国の動向を注視していく。

防災士資格取得の推進及び防災ネットワークの構築について

質問 市内の防災士資格の取得人数および市職員の取得状況は。

答弁 市内では50人が取得し、うち市職員は3人である。

質問 防災士と市との協力体制はあるか。

答弁 協力体制は構築しておらず、組織化もされていない。

質問 防災士による防災ネットワークの構築で防災力を高めたらどうか。

答弁 各地区において、自主防災組織の設置を推進しており、まずは同組織による災害時におけるネットワークの構築を図るとともに、防災士のネットワーク化も先進地事例を参考に研究していく。

質問 防災士資格取得への助成の考えは。

答弁 防災士と各地区および自主防災組織との協力体制のあり方を含め、検討していく。

デマンド型交通システムについて

質問 お出かけタクシーを停留所方式から、ドア・ツー・ドア方式に変更し、利便性を高めるべきでは。

答弁 今後、高齢化の進展により停留所までの移動に不便を感じる方の増加が懸念されることから、中野市地域公共交通対策協議会で検討を進めている。

質問 市内路線バスを朝夕の定時定路線とし、日中は予約型のデマンド型交通を導入してはどうか。

答弁 本市においても有効な公共交通システムであると考えられることから、今後研究していく。

質問 デマンド型交通の実証実験などを実施する考えは。

答弁 新たな公共交通システムを構築する場合には、システムの改善や最適化に役立つ貴重なデータを得ることができることから、必要に応じて、実施していく。



高木 尚史

マイナンバーカードについて

質問 マイナンバーカードの交付状況はどうか。

答弁 5月末時点の交付率は、市の住民基本台帳人口の71・9%で、男女ともに71・9%である。

質問 マイナンバーカードを利用した健康保険証の登録状況はどうか。

答弁 把握していない。

質問 健康保険証について、マイナンバーカードで登録していない者には資格確認証が発行され、資格確認証が無い者は医療費10割負担となる。市民に格差が生じるのは問題だがその対応はどうか。

答弁 資格確認証の発行は各保険者で行うことになる。

質問 公金受取口座の振り込み実態はどうか。

答弁 市では現在、国民健康保険の高額療養費等について活用している。

質問 交付に際してのトラブルの状況はどうか。

答弁 現在は確認されていない。

質問 マイナンバーカードを利用した各種証明書の申請状況はどうか。

答弁 令和4年度は、市のキオスク端末が125件、コンビニ交付が3千22

件となっている。

火災時等における消防体制について

質問 消防ポンプ車を運転する消防団員の中型・大型免許証の取得状況と同免許証取得への対応はどうか。

答弁 消防団のポンプ車は全て5t未満で普通免許での運転が可能。免許取得時の休業補償は考えていない。

質問 消防自動車に消火栓および防火水槽の設置状況がわかる位置情報ナビゲーションを搭載してはどうか。

答弁 搭載する予定はないが、有効な手段であり、今後検討したい。

教育行政について

質問 教育長の教育に対する基本的な考えはどうか。

答弁 学校教育では児童・生徒が安心して学べる環境づくりに、社会教育では公民館、図書館、博物館などが楽しく学べる身近な施設となるよう環境づくりに努める。

質問 学校図書館の図書購入と学校司書の配置拡充などの費用は交付税措置がされているが、対応はどうか。

答弁 蔵書冊数は、文部科学省の目標を達成している。学校司書の配置は委託業者により今年度中に2人増員し、8人となる見込み。令和3年度の学校図書購入費は約350万円度交付税措置に対する割合は、約52%である。



中村明文

北信濃ふるさと森文化公園に整備予定のアーチェリー場について

質問 アーチェリー場の規模等は。

答弁 現在計画中で、競技団体等と協議しながら決定したい。公式競技大会の開催については、地方大会レベルの開催は可能であると考えている。質問 身体障がい者のアーチェリー場への進入方法はどうか考えているか

答弁 既存の通路、多目的トイレ等のバリアフリー化を予定している。

質問 アーチェリー場の運営は。

答弁 北信濃ふるさと森文化公園指定管理者を運営主体と考えている。今後、施設の完成にあわせて関係団体と連携し、アーチェリーの振興および普及を図っていきたい。

中山晋平記念音楽賞について

質問 今年度60回記念になるが記念イベントを計画するのか。また、作品公募の規模拡大をしたらどうか。

答弁 今年度記念イベントの計画はないが、来年度ソラホールの開館等に合わせ、音楽賞にちなんだコンサートの開催を検討したい。例年200曲を超える応募があり、審査等を考

慮すると、募集範囲の拡大は難しい。質問 これまでの入選作品を改めて楽譜化、音源化をしたらどうか。

答弁 市民の皆様が音楽賞の曲をもっと気軽に聴いたり、楽譜を手に入れて合唱ができるようにデータ化を検討したい。

職員について

質問 職員数は充足しているか。

答弁 近年、新規採用者決定後の早期退職の申し出が一定程度あり、その減員分が確保できていない状況が続いている。

質問 令和7年度に採用する職員採用試験を前倒ししたらどうか。

答弁 受験人数の増につながる反面、辞退者も増えるものと考えられることから、研究していく。

質問 専門職・DX担当職員の常時採用制度および事情により退職した職員の再採用制度いわゆるキャリアリターン制度を検討したらどうか。

答弁 今後研究していきたい。

質問 会計年度任用職員への勤勉手当支給および賃金改善の考えは。

答弁 勤勉手当の支給は、令和6年4月の改正地方自治法施行に向け、検討したい。会計年度任用職員の賃金改善は、人事院勧告により給料月額額の改定があった場合は、国に準じて改定している。



阿部光則

子育て支援施設への指定管理者制度の導入について

質問 令和6年4月から児童センター、放課後児童クラブおよび子育て支援センターを指定管理者による運営とする理由は。

答弁 第4次中野市行政改革大綱などに基つき進めている。民間事業者の活力・ノウハウを幅広く活用することで、多様化する住民ニーズに、より効果的・効率的な対応が可能になることを期待している。

質問 現状どのような問題があるのか。

答弁 利用時間の延長、活動プログラムの充実、安定した職員の確保などに課題がある。

質問 条例改正により例外なく指定管理者の運営とするのか。

答弁 今回、条例において、指定管理者に行わせるということを決めて、次のステップに入る。

質問 全ての施設で指定管理者が決まらなかつた場合はどうするのか。

答弁 公募条件を見直すことになる。また公の施設なので市が責任をとる。質問 直営もあるということか。その場合は、条例の改正も必要ではな

いか。

答弁 最終的に指定管理者が決まらない場合は、直営に戻すということもある。そのときには、条例改正が必要となる。

質問 一般的には、指定管理にすれば人件費は抑えられることになる。ケア労働に携わる人の賃金を抑えることになるのではないか。

答弁 民営化になれば、正規職員としての雇用も図られ、また、ここで働きたいと思う人が増えたということも聞く。指定管理で賃金が安くなると一概には言えないと考えている。

温泉施設の無償譲渡について

質問 間山温泉公園は、この地域にある企業が譲渡先なので理解できる。

一方で、まだらおの湯は、5ha以上の土地も付随しており、旧豊田村時代の歴史ある施設である。それを温泉経営の経験がない県外の企業に無償譲渡することは賛成できない。慎重にすべきであると考え。譲渡先選定の理由は何か。

答弁 譲渡先の選定理由は、本年3月に開催したプロポーザル審査会において、提出書類およびヒアリングの内容から、提出書評価基準に基づき総合的に判断し、譲渡の相手方として決定したものである。

その他の質問

・介護保険制度について



芦澤 孝幸

生成AIについて

質問 業務負担の軽減に、生成AIの利用が有効であると考えますが、市内および学校での活用状況はどうか。
答弁 現状の生成AIは「不特定多数の利用者が画一的な規約等への同意のみで利用可能となる外部サービス」として提供されるものが多く、地方自治体に求められるセキュリティ対策やデータの取り扱いなどの要件を満たすことが困難であり、機密性を要する情報の取り扱いが難しいものと考えている。学校現場では、生成AIによる誤回答、AIによる生成物か否かを見分けられないなど、さまざまな懸念があること、また、子どもたちの批判的思考力や創造性への影響についても研究が必要であることから、活用は行っていない。
質問 積極的に活用すべきと考えるが、今後の活用法はどうか。
答弁 DX社会における重要なツールの一つと考えられることから、今後、運用ルールの制定、職員の情報リテラシー教育等を行い、セキュリティを確保したうえで、先進事例を参考にしながら、検討を進めていく。学校現場では、国のガイドラインを

基に、安全性、運用ルールなどについて慎重に検討していく。

自転車用ヘルメット着用努力義務化について

質問 本年4月1日から、全ての年齢層の自転車利用者に対し、ヘルメット着用が努力義務化されたが、ヘルメット購入補助事業創設の考えは。
答弁 ヘルメットの着用は重要であると認識しているが、当面は着用の状況等を注視していくこととし、補助制度については考えていない。

カチューシャふんばりマラソン大会について

質問 今年度の大会が中止となった経緯は。
答弁 主催者の中野市体育協会によると、大会に係る費用や人員などが大幅に不足し、大会の安全な運営に万全を期すことができないことから開催を中止したとのことである。
質問 今後の開催への考えは。
答弁 中野市体育協会をはじめ、関係する団体等とも協議するなど、再開に向け検討していく。

(注) 生成AI
 画像、文章、音声等さまざまなコンテンツを生成することのできる人工知能のこと。



松樹 純子

子育て支援について

質問 保育所等の使用済み紙おむつ持ち帰り廃止の実施方法は。また、保護者、保育士の受け止めは。
答弁 保育所等へ一時保管用収集箱を設置し、収集業者が、毎日午前中に収集を行っている。保護者からは、負担が減って助かるなどの声が寄せられ、保育士からも負担軽減になっていると受け止められている。
質問 中野市子育て支援拠点施設ハブリックの利用状況は。
答弁 5月は、大人、子ども合わせて1千154組3千216人で、うち市内の方565組、市外の方は589組であり、4月と5月の利用者は、合わせて6千938人である。
質問 ハブリック利用者からの声は。
答弁 室内で天候を気にせず遊べる、市内外の友人とも楽しむことができ、おもちゃ・遊具が豊富、イベントが楽しめ、といった好意的なご意見をいただいている。一方で、小学生以上が体を動かして遊ぶには物足りない、飲食スペースに赤ちゃんが座る場所が欲しい、SNSなどを通じて事前登録についてさらに周知してほしいなどのご意見もいただいている。

人権尊重について

質問 今後の課題は。
答弁 利用者等のご意見・ご要望を踏まえ、必要な改善を図り、よりよい施設となるよう努めていく。
質問 学校では、性的少数者への配慮はどのように行われているか。
答弁 男女の性差にとらわれない制服の採用や市作成の啓発チラシを児童・生徒、保護者にも配布している。
質問 パートナーシップ制度導入についての考えは。
答弁 8月1日に開始される「長野県パートナーシップ届出制度」を活用し、県に届出のあった性的少数者の方が、市の行政サービスを利用できるように準備していく。
質問 市の組織内のハラスメントへの対応はどのように行われるのか。
答弁 苦情相談を受ける職員を置き、相談があった際には、必要な職員からも事情聴取を行い、調査を実施する。まずはハラスメントとなる言動をやめさせることで、事案を早期に解消し、関係者の配置転換等の対応に努めることとしている。
質問 江部の事件を受け、人権尊重の取り組みを強化すべきではないか。
答弁 犯罪被害者等支援条例の制定に向け準備しているほか、これまで進めてきた啓発活動や人権教育等の取り組みを今後も着実に進め、人権のまちづくりの実現を目指したい。



高野 良之

ふるさと交流拠点施設について

質問 施設の利用方法は。

答弁 多目的広場では、400mトラックでの陸上競技、多目的グラウンドでのミニサッカー、フットサル等のほか、冬季にはクロスカントリースキー等、さまざまな利用方法を想定している。また、スポーツトレーニングや各種大会のほか、学生の合宿を通じた地元住民との交流、特産品を生かしたマルシェの開催等のイベント利用を想定している。屋内多目的施設では、バスケットボール、バドミントンのほか、指定管理者の自主事業により文化活動等の利用も可能になるものと考えている。そのほかに、無料で利用できる芝生広場には、子ども用遊具および健康器具を設置する予定であり、多くの方に利用していただきたいと考えている。

道の駅「ふるさと豊田」周辺の活性化について

質問 道の駅「ふるさと豊田」の改修計画はあるか。

答弁 老朽化に伴う施設の修繕、駐車場の整備等、単なる休憩所として

ではなく、観光スポットの一つとして施設をリニューアルしたいと考えている。

質問 施設改修には過疎債は活用できるのか。

答弁 施設改修には多額の費用が必要なことから、過疎債を活用したいと考えている。

質問 ドッグランを有料にしたらどうか。

答弁 近隣市町村にあるドッグランの多くは無料であり、豊田赤坂農村公園は、地域の皆さまのふれあいと健康の増進を図る憩いの場として利用いただくことを目的としていることから、協力を含め有料化することとは考えていない。

質問 公園をキャンプ場として利用できないか。また、貸自転車は置いてはどうか。

答弁 今後、豊田赤坂農村公園が指定管理施設となり、指定管理者のキャンプ場などの管理運営体制が整った場合には、指定管理者との協議により、設置について検討したい。

その他の質問

・第82回国民スポーツ大会について

(注) 過疎債

過疎地域自立促進特別措置法による過疎地域に該当した市町村が、公共施設整備等の財源として特別に発行が認められた地方債。



渡辺 菊男

乳幼児等の福祉医療費給付事業について

質問 対象範囲拡大に向けた検討状況は。

答弁 現在、18歳までを対象とした場合の対象者数、財政負担、事務作業スケジュールのほか、他の子育て支援策との関係などについて検討している。

質問 18歳まで拡大するための課題は何か。また、今後の予定は。

答弁 子育て支援に係る効果的な予算配分のため、学校給食費の負担軽減をはじめとする、市全体の子育て施策の取り組みから優先順位を決めている。引き続き検討していきたい。

ビジネスイベント「MICE(マイス)」の誘致について

質問 地域振興としてのMICE開催についての考えは。また、公共施設や市内宿泊施設の戦略的活用は。

答弁 地域振興としてのMICE開催は、地域への大きな経済波及効果をもたらすと期待される。全国規模の会議・イベント等と呼び込む際に、来春オープン予定のソラホールや、

信州中野駅前ホテル等を積極的に活用できると考える。

質問 MICE誘致を推進する考えは。

答弁 既に本市が会場予定の大規模な会議・イベント等は継続し、今後オープン予定のふるさと交流拠点施設、アーチェリー場等を活用したイベント等も誘致していきたい。

高等教育機関の誘致について

質問 大学等の高等教育機関での人材教育や育成に対する思いは。

答弁 大学等への進学は、若者の才能を伸ばし、可能性を広げることになる。本市には、高等教育機関がないため、市外へ住居を移すこととなるが、ふるさととの魅力を再認識し、さまざまな価値観や考え方に触れ、人として成長する機会でもある。

質問 誘致に対する考えは。

答弁 若者が市内で生活し活動することで、地域の活性化に資するものの、少子化等の影響により、誘致については課題がある。内閣府による地方への移転を考える高等教育機関と自治体をつなぐ支援事業に参加しつつ、大学誘致や学部の創設を働きかける県とも情報共有を図ってきたい。

(注) MICE(マイス)

会議、大会、学会、展示会などのビジネスイベントを指す総称。



中村 秀人

農業の振興と発展について

質問 令和5年4月凍霜害について、市内農業団体からの要請に対する対応はどうか。

答弁 要請の内容を踏まえ、県を始め関係機関と支援策を検討していく。質問 頻発する被害に対する新たな施策はあるか。

答弁 農業者の皆さまに希望を持って営農を継続していただけるよう、防霜対策資材等について、必要な財政支援を検討していく。

防災・減災について

質問 中野市総合浸水対策計画の本年度事業の進捗状況は。

答弁 七瀬地区および西江部地区におけるハード対策のための調査設計業務を実施する計画である。

質問 河川上流部を含め流域全体の浸水対策により被害軽減を図っては。答弁 ハード対策では、公共施設への貯留・浸透施設の設置検討や、水田を活用した雨水貯留等の調査研究

に係る機関と連携して取り組むほか、篠井川排水機場の排水ポンプの増設や河川整備の推進を国・県へ要望し

ていく。また、ソフト対策では、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援等を進め、浸水被害軽減を目指していく。

不登校の児童・生徒への支援について

質問 学校内の相談体制は。

答弁 不登校生徒の居場所となる相談室を全中学校に設置し、教育支援員を配置している。学校不適應等で遅刻・早退・欠席が増え始めた児童・生徒については、子ども相談室と連携を図り、早い時期に専門家へ相談するなど、外部支援機関へつなげる体制を整えている。

質問 市内のフリースクール等の開設状況は。

答弁 教育委員会で設置している中間教室のほか、民間事業者により2カ所の不登校支援施設が開設されている。

質問 学校との連携および施設継続への支援の考えは。

答弁 施設において、児童・生徒の受け入れにあたり、学校および教育委員会と情報を共有し、指導内容等の確認をしている。施設の運営継続のための財政支援については、県の認証制度の動向を注視しつつ、検討している。

その他の質問

・子どもの居場所事情について

議会インターネット録画中継

市議会では、本会議のインターネット録画中継を行っています。

インターネット録画中継は、パソコンのほかタブレットやスマートフォンでも本会議の様態を視聴することができます。

是非、ご覧ください。

視聴方法

中野市議会ホームページから「中野市議会中継」にアクセス

中野市議会ホームページ

<https://www.city.nakano.nagano.jp/categories/shigikai/>

配信している議会中継

平成30年5月市議会臨時会分～

配信時期

定例会・臨時会の本会議終了後、約1週間後に配信します。



中野市議会HP

総務文教委員会報告

総務文教委員会に付託された条例案5件、予算案2件について、6月20日に審査しました。

主なものとして、予算案では、令和5年度中野市一般会計補正予算（第1号）について、補正総額4億3千782万9千円を追加し、補正後の予算総額は265億182万9千円とするものです。歳出のうち総務費（関係部分）では、燃料および物価の高騰に影響を受けた市民や事業者を支援する目的で第3弾の地域支え合い商品券を配布するため、地域支え合い商品券事業費1億9千20万5千円の増、教育費では、通学時等における児童の所在確認を実施するため、通学バス添乗員業務委託料41万円の増などであり、原案どおり可決されました。

そのほか、条例案5件、予算案1件については、原案どおり承認および可決されました。



民生環境委員会報告

民生環境委員会に付託された条例案6件、予算案3件について、6月20日に審査しました。

主なものとして、条例案では、中野市児童センター条例案、中野市放課後児童クラブ条例案および中野市子育て支援センター条例案は、令和6年度からそれぞれの施設の管理運営に指定管理者制度を導入するため所要の改正を行うものであり、また、中野市犯罪被害者等支援条例案は、犯罪被害者等の支援に関し、犯罪被害者等が受けた被害の早期回復および軽減ならびに生活の再建および権利利益の保護を図るため制定するもので、原案どおり可決されました。

予算案では、令和5年度中野市一般会計補正予算（第1号）について、民生費では臨時特別給付金1億1千745万円の増、衛生費では、がん患者アピアランスケア助成金180万円の増などであり、原案どおり可決されました。また、令和5年度中野市一般会計補正予算（第2号）では、民生費について犯罪被害者等支援金および日常生活支援助成金あわせて184万3千円の増額であり、原案どおり可決されました。

そのほか、条例案2件、予算案1件については、原案どおり可決されました。

経済建設委員会報告

経済建設委員会に付託された条例案2件、予算案1件、事件案3件について、6月20日に審査しました。

主なものとして、条例案では、中野市農村公園条例の一部を改正する条例案は、令和6年度から農村公園のうち、豊田赤坂農村公園の管理運営に指定管理者制度を導入するため所要の改正を行うものであり、また、中野市営住宅等に関する条例の一部を改正する条例案は、中野市犯罪被害者等支援条例を制定することに伴い、犯罪により住宅被害を受けた犯罪被害者等に対する支援として、市営住宅への入居資格を付与し、優先して入居できるようにするため所要の改正を行うもので、それぞれ原案どおり可決されました。

事件案では、中野市晋平の里間山温泉公園および中野市斑尾高原体験交流施設について、市の財政負担の軽減および温泉施設に係る建物等を民間が保有し、運営することで、より効果的・効率的な経営が期待できることから、両施設の土地および建物を無償譲渡するものであり、原案どおり可決されました。

そのほか、予算案1件、事件案1件については、原案どおり可決されました。

市議会を
傍聴しませんか



手話通訳申請
ながの電子申請サービス

本会議は、自由に傍聴いただくことができます。
市政を知る良い機会ですので、是非、お出かけください。
聴覚に障がいのある方には、手話通訳者を配置いたします。
ご希望の方は、ながの電子申請サービスまたは事前に議会事務局までご連絡をお願いいたします。
音声の聞き取りづらい方には、専用の音声受信機の貸出しをいたしますので、傍聴にお越しの際に、議会事務局までお申し出ください。

傍聴等に関するお問い合わせ先

電話 (22) 2111 (内線316) FAX (22) 5922

Eメール gikai@city.nakano.nagano.jp

6月定例会の審議結果

議案番号	件名	審議結果	議案番号	件名	審議結果
議案第1号	中野市市税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	承認	議案第14号	財産（土地及び建物）の無償譲渡について	可決
議案第2号	中野市都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	承認	議案第15号	財産（土地及び建物）の無償譲渡について	可決
議案第3号	中野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	承認	議案第16号	財産（ロータリ除雪車）の取得について	可決
議案第4号	中野市一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	可決	議案第17号	中野市犯罪被害者等支援条例案	可決
議案第5号	中野市市税条例の一部を改正する条例案	可決	議案第18号	中野市営住宅等に関する条例の一部を改正する条例案	可決
議案第6号	中野市児童センター条例案	可決	議案第19号	令和5年度中野市一般会計補正予算（第2号）	可決
議案第7号	中野市放課後児童クラブ条例案	可決	議案第20号	中野市教育委員会委員の任命の同意について	同意
議案第8号	中野市子育て支援センター条例案	可決	議第1号	議長選挙	選挙
議案第9号	中野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	可決	議第2号	議会運営委員の選任について	選任
議案第10号	中野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	可決	議第3号	北信広域連合議会議員の補欠選挙	選挙
議案第11号	中野市農村公園条例の一部を改正する条例案	可決	議第4号	北信保健衛生施設組合議会議員の補欠選挙	選挙
議案第12号	令和5年度中野市一般会計補正予算（第1号）	可決	議第5号	岳南広域消防組合議会議員の補欠選挙	選挙
議案第13号	令和5年度中野市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決	議第6号	議会改革検討委員の選任について	選任

賛否の分かれた議案

議案番号	件名	渡辺菊男	土屋博	笠原豊	江口栄光	本田将伸	中村明文	中村秀人	塚田一夫	松樹純子	宮島包義	宇塚千晶	(欠員)	芦澤孝幸	小林忠一	阿部光則	松野繁男	原澤年秋	高野良之	芋川吉孝	高木尚史
議案第6号	中野市児童センター条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	欠	×	○	議	○	○	○
議案第7号	中野市放課後児童クラブ条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	欠	×	○	議	○	○	○
議案第8号	中野市子育て支援センター条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	欠	×	○	議	○	○	○
議案第15号	財産（土地及び建物）の無償譲渡について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	欠	×	○	議	○	○	○

※ ○は賛成 ×は反対 △は退席 欠は欠席
 ※ 議は議長（可否同数以外は表決に加わりません）

表紙の写真

ドリーム・ベースボールが
開催されました

6月25日(日)に中野市宮野球場などで、「宝くじスポーツフェア ドリーム・ベースボール in 中野」が開催され、約1千600人が来場しました。

当日は、元プロ野球選手で構成されるドリーム・チームによる小・中学生を対象とした少年少女野球教室や谷沢健一さんの講演のほか、午後には、ドリーム・チームと地元選抜チームによる親善試合「ドリーム・ゲーム」が行われました。



「ドリーム・ゲーム」では、序盤にドリーム・チームが大きくリードしましたが、最終回到地元選抜チームが逆転。9対8で地元選抜が勝利を収めました。白熱した試合に、スタンドで観戦した多くの方が拍手や声援を送りました。

(写真提供 中野市広報)



令和5年9月中野市議会
定例会会期日程(予定)

- 開会日 9月1日(金曜日)
- 市政一般質問 9月8日(金曜日)
- 委員会 9月13日(水曜日)
- 14日(木曜日)
- 15日(金曜日)
- 19日(火曜日)
- 20日(水曜日)
- 9月25日(月曜日)

○閉会日 9月25日(月曜日)

○諸願・陳情について
9月定例会における諸願書および陳情書の受付は、8月15日(火曜日)の午後5時までです。

※他の行事等により日程を変更する場合があります。

第6代前期
議会だより編集委員名簿

(順不同)

- | | |
|-------|-------|
| 委員長 | 松樹 純子 |
| 副委員長 | 芦澤 孝幸 |
| 委員 | 渡辺 菊男 |
| 江口 栄光 | 本田 将伸 |
| 中村 明文 | 中村 秀人 |
| 塚田 一夫 | 松野 繁男 |
| 茅川 吉孝 | |

あとがき

5月末に江部で凄惨な事件が発生しました。被害者の方々のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族には衷心よりお悔やみ申し上げます。

この事件は、中野市民だけでなく、多くの人々に大きな衝撃と悲しみを与えました。それが癒えぬまま、中野市議会6月定例会は、犠牲になられた方々への黙とう、そして前議長の議員辞職を受けた議長選挙から始まりました。

市長から、当初提出の議案に加え、「中野市犯罪被害者等支援条例案」他2件の関連議案が追加提案されました。事件を重く受け止め、以前から検討していた条例等の早期制定を目指したものです。市議会は、慎重に審議し、これを可決しましたが、一方では、今後この条例等が適用されるようなことがないよう願うとともに、より安全・安心のまちづくりのため、更なる努力をする責任を自覚し、身の引き締まる思いです。

